

2024年10月25日 第3488回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 高橋 会長

<斉 唱> 「それこそロータリー」

<会長報告> *第1グループ会長・幹事会 報告

- ・地区ポリオプラス委員会よりポリオ・ソサエティ参加申込み、ポリオ募金のお願い
- ・ポリオ募金活動について

10月27日(日) 三浦ロータリークラブ、横須賀北ロータリークラブ

11月3日(日) 横須賀ロータリークラブ、横須賀西ロータリークラブ

*第4回理事役員会 報告

- ・2027~2028年度ガバナー・ノミネー立候補者について
- ・第1グループ合同例会 横須賀北ロータリークラブ主催、1月7日(火)開催
1月10日(金)は振替休会、1月17日(金)は年男卓話に変更

*ガバナー事務所より

- ・地区ローターアクト委員会のご案内について
11月17日(日) 13:00~ 場所: 第一相澤ビル8F「会議室」
- ・インターアクト委員会・アクターズミーティング開催のご案内について
11月 9日(土) 14:00~14:30 IA委員会
15:00~18:00 アクターズミーティング
場所: アイクロス湘南6F「E会議室」
- ・地区ホームページサミット開催のご案内について
12月 7日(土) 16:00~17:30(予定)
場所: 第1相澤ビル6F会議室
- ・地区大会での長寿会員表彰について
対象者: 上林会員、波島会員、徳永会員、小沢(一) 会員

<幹事報告> *ガバナー月信 No. 4

*例会終了後国際奉仕委員会開催

<出席報告> *出席委員会 白井委員長より10月25日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	マークアップ数	出席率
116名	101名	61名(6名)	40名	18名	75.24%

マークアップ: 秋葉、植田、Robinson、小沢、加賀本、加藤(元)、上林、北村、小佐野、越川、小山(陽)、竹株、長島、波島、藤村 各会員 地区大会出席
石田会員 地区委員会出席、大野(健)、小林(一) 横須賀RAC出席

<ニコニコ報告>

- ・根 岸、岡田(夙) 両会員 入会月祝いとして
- ・三 役 10/20 地区大会ご参加有難うございました。本日は第1回クラブ協議会です。代表して報告頂く会員皆様宜しくお願いいたします。
- ・大 石、岡田(圭)、永 井、田 中、江 口、椿、齋藤(眞)、松本(朋)、権田、八 巻、杉 浦、澤 田、鈴木(豊)、前 川、田 邊、岡田(夙)、白 井、梁 井、比 護 各会員
本日は第1回クラブ協議会です。地区大会の報告をされる皆様楽しみにしておりますのでどうぞよろしく申し上げます。
- ・角 井、権 田 両会員 地区大会お疲れ様でした。本日、10月19日20日に行われました地区大会の報告をさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。
- ・齋藤(夙) 地区米山委員会委員長 先日の地区大会では米山奨学生・学友によるお茶サービスにご協力

いただき、誠にありがとうございました。おかげ様で多くのニコニコも集まり、今後の奨学生・学友の活動費にいたします。

- ・加藤 博 釣り同好会幹事 いよいよ明日（10/26）釣り同好会イシモチ釣り大会を開催致します。初めての方も参加頂き、楽しんで参ります～。開催にあたって高橋会長、五十嵐同好会会長、多大な寄付をありがとうございました！！
- ・物 井 会員 OH!MY GOD!! グランパになりました。イージーライダーのつもりがジュージーライダーになってしまいました。
- ・岩 崎、高 橋、小 澤、寺 田、齋藤眞、八 木、三 井、江 沢、
谷、前 川、田 邊、根 岸、長 尾、萩 原、勝 見、小保内、山 下 各会員
神奈川県高校軟式野球秋季大会において三浦学苑が3年連続5度目の頂点に立ちました。おめでとうございます。関東大会も頑張ってくださいですね。
- ・高 橋、梶 木、小 平、柴 田、前 川、前 田、浅 葉、小山 隼 各会員
4年ぶりにリーグ優勝を決めたドジャースは43年ぶりにワールドシリーズでヤンキースと対決します！見どころ満載ですね！
- ・野 坂 会員 早退します。すみません。

<卓 話>

第1回クラブ協議会（地区大会報告）

高橋会長・角井会員・権田会員・渡辺会員・兼城幹事

◇会長報告

高 橋 会 長



今年度の地区大会は、佐々木辰郎ガバナーの所属される大和田園RCを中心に第6グループが支援をして初めて県央で開催されました。

RI会長代理として仙台泉RCの菅原裕典ご夫妻ご臨席の下、1日目はレンブラントホテル海老名において顕彰午餐会、会長幹事会、指導者育成セミナー、RI会長代理ご夫妻歓迎晚餐会を、そして2日目は大和市文化創造拠点シリウスにおいて本会議が開催されました。

1日目の会長幹事会では、午前中に行われた四種委員会の報告、大会決議の採決、前年度地区決算の報告ならびに承認採決、続いて地区委員長から委員会活動報告がありました。当クラブからは岡田英城地区危機管理委員長、角井駿輔ローターアクト委員長、齋藤秀人米山委員長が報告されました。その後、指導者育成セミナーでRI理事2760地区パストガバナー水野功様が「国際ロータリーの現況」を一時間に渡り講演されました。

続いて松下孝ガバナーエレクトより来年の国際大会の案内があり、地区ナイトとしてカルガリーで一番高いカルガリータワーでの食事を予定されているそうです。

その後RI会長代理ご夫妻歓迎晚餐会が行われました。ここで姉妹地区締結10周年記念式を昨年しました韓国済州島の第3662地区の朴相林ガバナーと20余名が到着され晚餐会は華やかな雰囲気になりました。3662地区はロータリアンの人口比率が非常に高く、人口約66万人の島に約4,000人のロータリアン、つまり、100人に1人弱がロータリアンだそうです。経済規模の違いだけでなく、背景にはロータリーの社会的認知度の格差があるようです。

次に2日目の本会議ですが、ガバナー挨拶やRI会長メッセージなどの前半のプログラムの最後にRI元理事千玄室様の記念講演「ロータリーの居場所」があり、休憩を挟んで、アトラクションとして大和市雅楽協会による「雅楽の世界」がありました。

各種表彰の場面では、当クラブから上林会員、波島会員、徳永会員、小沢一彦会員の4名が長寿会員として、また、アーチ・クランフ・ソサエティとして小沢一彦会員、財団大口寄付として長尾会員、メジャードナーとして岡田英城会員が表彰されました。横須賀クラブの昨年度の実績に対するロータリー賞の受賞、さらに、ロータリー米山記念奨学会寄付優秀クラブの第5位に入賞し藤村前会長が受け取られました。

この後3名の発表がありますので自分は第1日目の事についてと全体を通して感じた事を中心にお話したいと思います。

まず顕彰午餐会には、当クラブより小沢一彦会員、岡田英城会員、佐久間会員と自分が出席しました。ロータリーに対しての大口寄付者を中心に行われるこの会ですが、地区によっては開催しない事もあるそうです。

会長幹事会では、普段は中々聞けない地区16委員会委員長の報告がありました。3年間のAction Plan (行動計画・方針)の策定を進めて下さい。青少年に関わる事業を行うには「ボランティア誓約書」の提出が必須である事、クラブの活性化を目指し、公共イメージを高め、年度末の退会者を繋ぎ止める活動、等と共に各種委員会のセミナーの日程が報告されました。特に気になったのは会員増強拡大委員会の「ロータリーに入ったからには、幸せになって欲しい、幸せをつかめる手助けが出来る組織であってほしい。」の一文でした。

指導者育成セミナーでは、水野R I理事より国際ロータリーの現況というテーマで講演をして頂きました。

現在、世界ではクラブ数は増加していますが少人数化している方向だそうです。日本ではクラブ数は変わらないですがロータリアンの数は減っています。女性会員も世界26%、日本13%と差が開いています。平均年齢は62歳前後、50歳～70歳の割合69.82%であり、これは時代に追いついて適用している状態なのか、また未来への備えが出来ているか等、新しいクラブ形式の検討も必要になっていると感じております。そして若い会員を大切に育てる事が大事です。会員維持活動を大切にし、新入会員には事前に説明を徹底して、ロータリーを理解した上で入会してもらい、フォローしていく事も大事です。新会員には、他クラブへのメーキャップも積極的に勧めて頂き、例えば一緒に行く等交流の場を大事にしてください。

ガバナー挨拶やR I会長代理のスピーチの中で、ロータリーの活動を通じて地域で求められ魅力のあるクラブを作ってくださいと度々言われていました。この横須賀の地で何が求められているかを考えていき、クラブ運営を行っていきたいと思います。

最後になりますが、地区大会は各種表彰や他クラブとの交流・情報交換の場として、大変重要なイベントですが、今回気になったことは、懇親会が無い事もあり最後までおられた方が少なかった事です。地区大会は、全ての会員にとってロータリーを知るための良い機会、ロータリーに新たな発見をする良い機会だと思いますので次年度以降、是非ご参加をお願い致します。

◇新世代交流会報告

角井 会員

私は、10月20日(日)に大和商工会議所において開催されました新世代交流会に参加いたしましたのでご報告いたします。ただし、私自身は地区ローターアクト委員長として、会議所内を上に行ったり下に行ったり奔走しておりましたので、実は交流会の内容をほとんど見ておりません。あらかじめお詫び申し上げるとともに、出来る限りの範囲内でのご報告になることをご承知おきください。

今年度の新世代交流会は、ローターアクトが運営側となり、メインプログラムの内容、前日準備、当日の進行、グループに分かれた際のファシリテーターなど、そのすべてをローターアクトが担いました。参加した新世代は、インターアクト、青少年交換学生、ROTEX、米山奨学生、米山学友、ロータリー平和フェローなど総勢100名という盛況ぶりでした。なお、当クラブからは、前田長生第1グループガバナー補佐、齋藤秀人地区米山委員長、大野健男クラブローターアクト委員長と小山陽生青少年奉仕委員長が出席されました。

新世代交流会は、午前9時30分、佐々木辰郎ガバナーおよび菅原裕典R I会長代理からのご挨拶、榊原慧実行委員長による点鐘により開始しました。各テーブルには新世代がバランスよく配置されていましたが、開会当初はみなさん



堅い空気感だったため、アイスブレイクが行われました。海外からの留学生も多く参加していたため、英語で各自の共通点を紹介するという高難度の内容でしたが、米山奨学生やROTEXが通訳を行ってくれたおかげで英語ができない新世代でも会話の輪に入ることができていました。

メインプログラムは、ローターアクターがプログラミングしたすごろく状のゲームを使い、サイコロを振って止まったマスに書いてあるお題について、みんなで意見交換をするというものでした。その意見交換の際にも基本的には英語で行うというハイレベルな内容でしたが、今回の新世代交流会では、各テーブルにはロータリアンが参加せず、あくまでオブザーバーとして各テーブルの様子を見守るだけでしたので、新世代の真価が発揮されたと言えます。

交流会の最後には、いくつかのテーブルが代表してディスカッションの内容を発表しており、「ロータリーファミリーになって何が良かったか」、「交換留学生をどのようにもてなそうと考えるか」、「これからどんな国際奉仕ができるか」というロータリアンでもすぐに答えの出ないテーマについて、充実した発表が行われました。最後に、司会やファシリテーターを務めた横須賀ローターアクトクラブのメンバー、青少年交換学生のルアリーさん、そして10名以上の出席者を擁し、顧問の先生も参加した三浦学苑インターアクトクラブの活躍が目覚ましかったことをこの場でご報告しておきます。

◇2回目の参加者として

権田 会員



2024年10月20日に、国際ロータリー第2780地区、地区大会の本会議に参加させていただきましたのでご報告を申し上げます。

私にとっては2回目の地区大会でしたが、海外からの参加者を含め沢山のロータリアンが集まり、多様なお話しが聞ける地区大会は、やはり特別なものであると感じました。

千玄室R I元理事のお話しは、特にそのご年齢をお聞きしてからは、歴史的な話しに圧倒され、思わず引き込まれてしまいました。

アトラクションの雅楽演奏は、大和市雅楽協会の会長による熱い解説が特に印象に残っており、雅楽に対する愛を感じました。

また、表彰において、横須賀ロータリークラブ及び所属会員の皆様が受けられた多くの表彰については、横須賀ロータリークラブの一員として私も誇らしく思いました。

それら多数のプログラムの中でも、特に新会員という立場からは、菅原裕典R I会長代理のお話しが、新会員に関する言及が多く印象に

残りました。

菅原R I会長代理は、日本でのロータリー会員の減少に触れ、今後も奉仕活動を継続し、奉仕活動の選択肢を広げるためには、新会員を増やすことが重要であると述べられました。そして、菅原R I会長代理が繰り返し述べられていたテーマである「多様性、公平さ、インクルージョンの精神」というテーマは、新会員を増やし、迎え入れようとする場面でも重要であると述べられました。加えて、退会者を減らし、クラブ活動を活性化させるためには、新会員が入会からすぐにクラブ活動に関与し活躍できる環境が必要であると述べられました。率直に、ご指摘のとおりであると感じました。さらに、菅原R I会長代理は、新会員の立場にある者に対しては、これまで先人たちが作り上げ、地域社会で信頼され、ブランドとなっているロータリークラブの一員になれたことを誇りに思うべきであり、他方で、新会員こそ臆せず積極的にアクションを起こし、変化を生み出していくべきだとも述べられました。これについて、私は、新会員の任務として、「ロータリーの文化を学び守りつつ、しかし新たな変化を生み出すために積極的にアクションを起こす」という重大な任務を与えられているのだと理解しました。私自身は、横須賀地域で伝統と格式を有する横須賀ロータリークラブに入会させて頂いたことを、新会員として誇りに思っており、またロータリーの文化を学び守りたいと考えます。他方で、私は、新しい変化やアクションを起こしていくことは苦手です。今年度はまだ始まったばかりですので、苦手の克服に取り組んでいくことで、地区大会に参加した経験を活かして参りたいと考えます。

さて、来年度の地区大会にもぜひ参加させて頂きたく、来年度の日程である2025年9月6日(土)、9月7日(日)の予定をスケジュール帳に書き込みました。

来年度も横須賀ロータリークラブの皆様と一緒に地区大会に参加できることを、今から楽しみにしております。

◇新会員として

「国際ロータリー第2780地区大会」が「大和市文化創造拠点シリウス」にて開催され、私は第2日目の本会議に参加させていただきました。神奈川県央での地区大会開催は初めての開催となるとお聞きしました。個人的にも会場となった大和市には、何かの用事として来たのは初めてでありました。地区の会員全体が一堂に会しロータリーの現状や方針を確認すること、会員同士の関係性や親睦を深めることに役立っているものと理解致しました。

佐々木ガバナーのご挨拶では、今年度地区大会は「シンプル」をメインテーマに、「ロータリーのマジック」を行動と実践によって引き出そう、行動で示していこうとのメッセージがございました。

菅原R I会長代理からは、世界各地あるいは日本における会員増強はクラブ存続のために重要であり、「四つのテスト」で同じことを繰り返すことの重要性、ポリオ撲滅、行動を通じて変化を生み出していくことなどの大切さについてのご説明がありました。

大会記念講演としてR I元理事、裏千家、元家元であります「千玄室様」(京都RC、1923年(大正12年)京都生、101歳)をお招きしてのご講演「ロータリーの居場所」について拝聴しました。壇上では杖も無く歩かれ、50分間の講演時間も立ったまま、原稿も棒読みではなく、ご自身の言葉で熱く語られていたお姿がたいへん印象的であり、ご講演をお聞きしたいへん感動しました。大学の講義でも挨拶、礼を重んじ、大切なことはお互いが少し下がる、お先にどうぞという気持ちが大切、Good Willの精神が大事、手を差し伸べること、それを実行するために「ロータリーの居場所」があると仰っておられました。講演内容にも感銘を受け、背筋が自然と伸びる思いが致しました。

大会アトラクションは「大和市雅楽協会雅楽の世界」であり、世界最古のオーケストラと言われております雅楽の演奏を存分に楽しむことができました。平安貴族のいろいろな色の「狩衣」という装束を着ての雅楽の演奏と楽器等の説明をお聞きしました。雅楽演奏は興味深く、平安貴族についての学びに繋がりました。

各種表彰においては、横須賀ロータリー及び小沢一彦会員をはじめ多くの方々の表彰が行われました。諸先輩の皆さまに対して、この場をおかりして敬意を表したいと存じます。

私も横須賀ロータリークラブの一員として、これまで以上に社会奉仕の観点で自分自身において、微力ながらも何ができるかを考えながら、日々の活動に取り組んでいくこと、国内外の様々な活動の実態や取組み状況をより広く、深く知ることで、新たな気づきを得ていきたいと思いました。

次回の地区大会日程は、2025年9月6日(土)レンブラントホテル厚木、7日(日)伊勢原市民文化会館での開催予定とのこととのことです。引き続き来年の地区大会も盛況でありますことを祈念し、私の今回の参加報告とさせていただきます。ご清聴いただきありがとうございました。

渡辺(努) 会員



◇幹事報告

兼 城 幹事

2024年10月19日、20日の2日間にわたり国際ロータリー第2780地区、地区大会が開催されました。当クラブからも多数の会員にご出席戴きましたこと御礼申し上げます。私はクラブ幹事として2日間出席しました。高橋会長との報告を分け、私は2日目をメインに2つの話しを報告させていただきます。

まずひとつめは、RI会長代理、菅原裕典様による、RI会長メッセージ並びにRIの現況報告についてです。ステファニー A. アーチックRI会長のメッセージに、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動すること、好ましい変化をもたらす一つの方法としてクラブで「多様性」、「公平さ」、「インクルージョン」(DEI)の原則を取り入れることと発信されました。これは世界のロータリー会員数やクラブ数の減少が背景にあり、日本においても同様であることが数値でも報告され、継続と変化のバランスをとる局面であると言及されています。また自クラブの現状に当てはめてみるのが重要であると言及されており、横須賀クラブは会員数も安定し、会員が例会を楽しんでいる、奉仕の機会によって地元に変化をもたらしている、会員同士が居心地よく過ごし、友情関係を築いているという、クラブ活性のキーポイントを成していると確信しています。一方、他クラブでは当クラブの半分以下の人数で活動し、苦勞されている話もよく耳にし、将来の大きな課題感を感じています。DEIを意識、実践しながら当クラブの活動に共感する仲間を増やすことがクラブの活動を発展させ、存続維持のためにも必要不可欠なことであるとより強く認識しました。これからも自分のことばで横須賀クラブの魅力を発信できるよう活動継続したいと思います。



2つ目は、RI元理事、京都RCの千玄室様の大会記念講演でのお話です。ご自身の壮絶な戦争体験談に加え、1954年のクラブ入会から約70年間のロータリーご経験談をお話してくださいました。

特に印象に残ったことは、「奉仕の実」を知ること。Good Will (善意)の精神を持ち、手を貸しあう、手を繋ぎあい、奉仕は自分の身体と心で行うものである。平和は自分たちの足元からつくり、一人ひとりが嘘をつかずバッジに恥じぬ生き方をすることである。とても感銘を受け、いつまでも大切にすべき普遍的な人生観を学んだ、記憶に残る講演となりました。

最後になりますが、各種表彰で長寿会員として上林会員、波島会員、徳永会員、小沢一彦会員が表彰されました。アーチ・クランフ・ソサエティとして小沢一彦会員、財団大口寄付の長尾会員、メジャードナーの岡田英城会員、横須賀クラブとしてロータリー賞、米山記念奨学会寄付優秀クラブとして表彰されましたことお祝いとともにご報告させていただきます。

2日間の地区大会に参加し、普段お会いできないような方の話やRIや地区の現況を把握できることは大変有益な学びの場でした。御礼を申し上げ報告とさせていただきます。

<閉会・点鐘> 13:30 高橋 会長

週報担当 梁 井 康 市